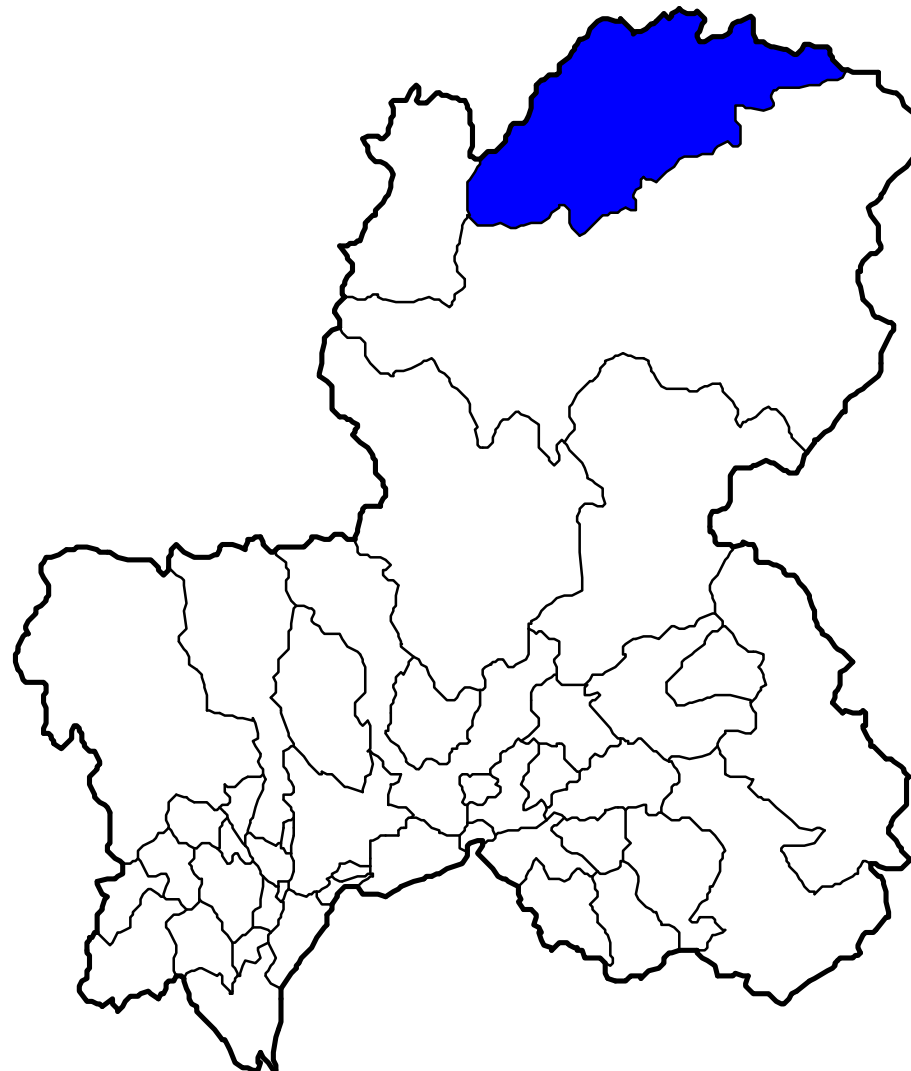


# 統計からみた 飛騨市 の現状

| 総面積km <sup>2</sup> | 割合%  | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 792.53             | 7.46 | 5  |

※割合＝県全体に占める割合



＜平成以降の合併＞ 2004.2.1  
古川町、河合村、宮川村、神岡町

岐阜県環境生活部統計課  
2025年3月更新

## 飛騨市の人口は減少が続いている

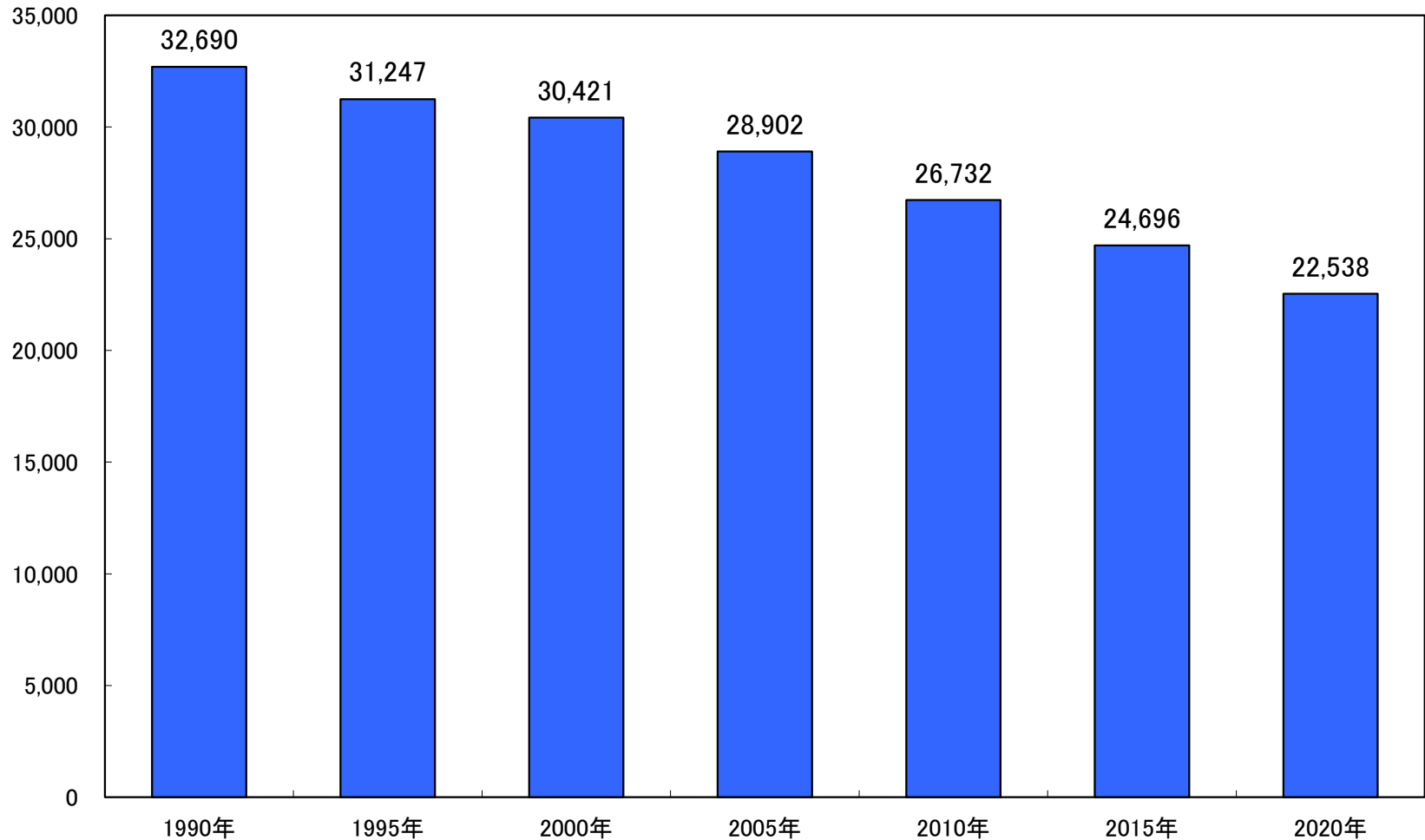
2010年：26,732人 → 2015年：24,696人 (△2,036人)

2015年：24,696人 → 2020年：22,538人 (△2,158人)

人口順位：県内24位 県人口に占める割合：1.6% (1990年) → 1.1% (2020年)

(人)

総人口の推移(飛騨市)

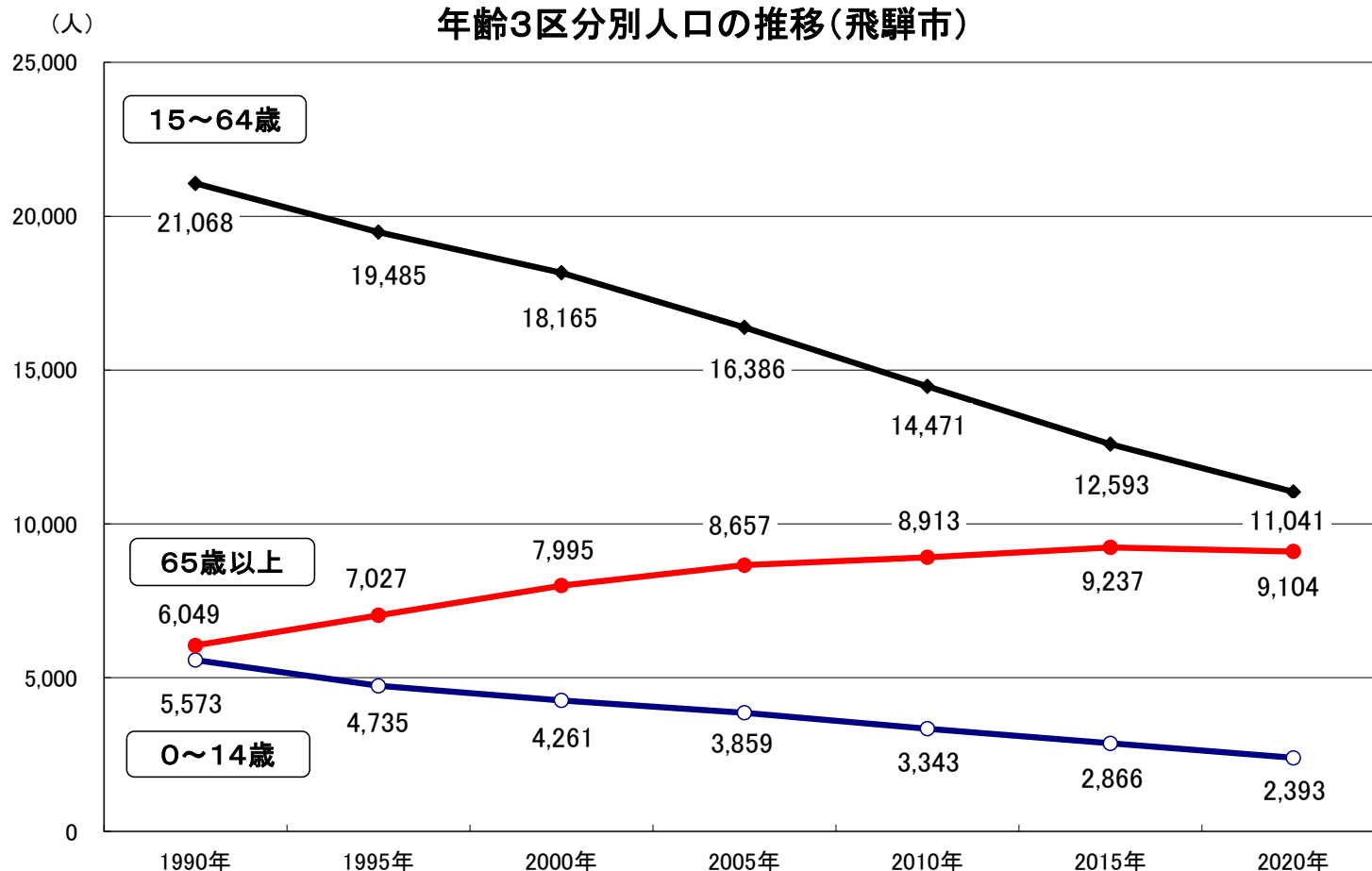


# 0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は大幅な減少が続く

| 人口の<br>増減数 | 2010→<br>2015年 | 2015→<br>2020年 |
|------------|----------------|----------------|
| 0～14歳      | △ 477          | △ 473          |
| 15～64歳     | △ 1,878        | △ 1,552        |
| 65歳以上      | 324            | △ 133          |

|        | 年齢3区分別人口の割合（2020年） |       |      |
|--------|--------------------|-------|------|
|        | 飛騨市                | 岐阜県   | 県内順位 |
| 0～14歳  | 10.6%              | 12.3% | 33位  |
| 15～64歳 | 49.0%              | 57.3% | 38位  |
| 65歳以上  | 40.4%              | 30.4% | 5位   |

年齢3区分別人口の推移（飛騨市）

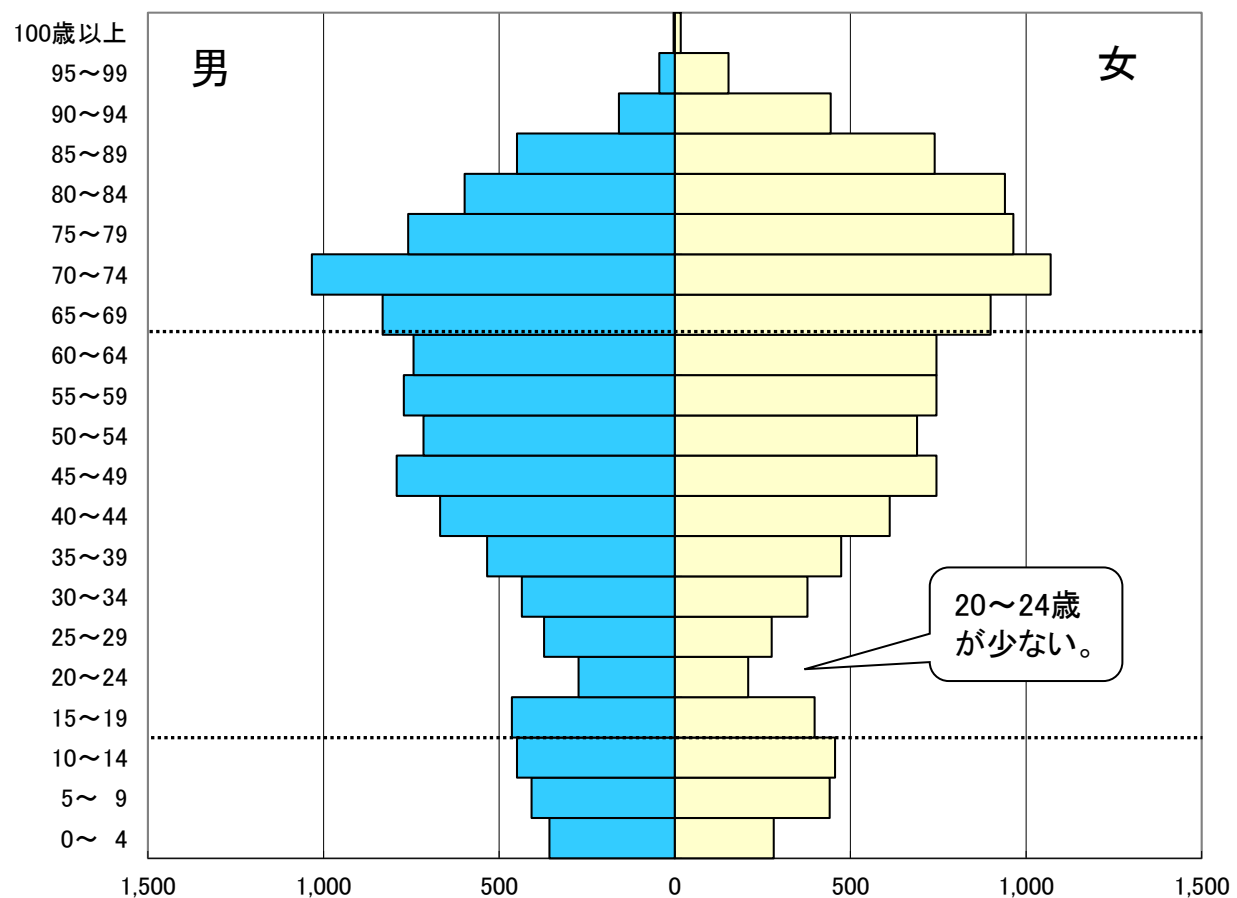


## 若い世代が少なく、中高年層に大きな厚みのある年齢構造 60代70代人口が多い

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：18.5%（7位） → 2020年：40.4%（5位）

2020年人口ピラミッド（飛騨市）



|        | 人口(人)  | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 総人口    | 22,538 | 100.0  |
| 0～14歳  | 2,393  | 10.6   |
| 15～64歳 | 11,041 | 49.0   |
| 65歳以上  | 9,104  | 40.4   |

### <岐阜県全体の人口構成>

- ・0～14歳 : 12.3%
- ・15～64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

### <構成比の県内順位>

- ・0～14歳人口 : 33位
  - ・15～64歳人口 : 38位
  - ・65歳以上人口 : 5位
- ※数値の大きい順

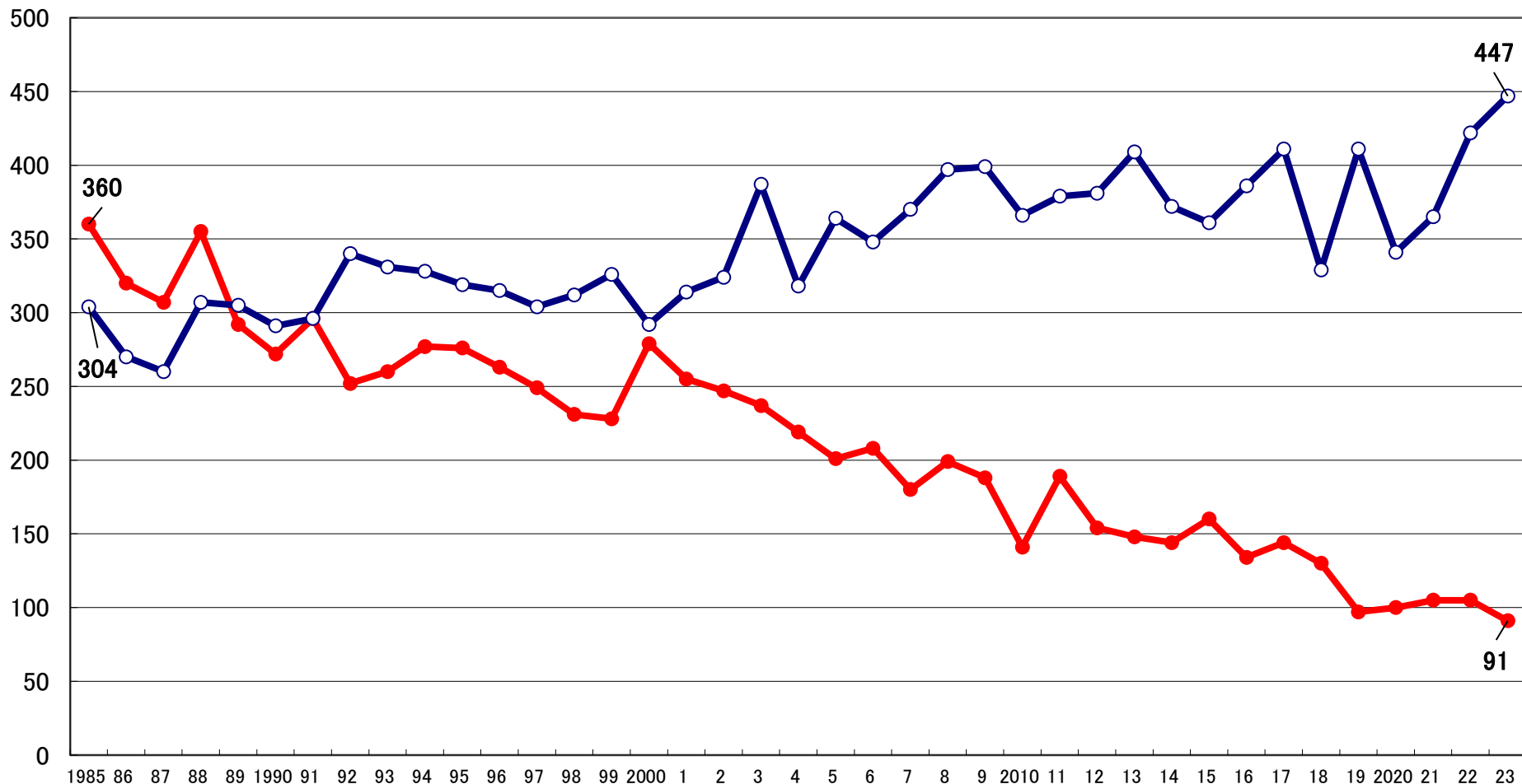
20～24歳  
が少ない。

# 出生数が減少する一方、死亡数が増加 1992年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2023年の自然動態：出生数91人 死亡数447人 356人の自然減少

出生数・死亡数の推移（飛驒市）

（人）



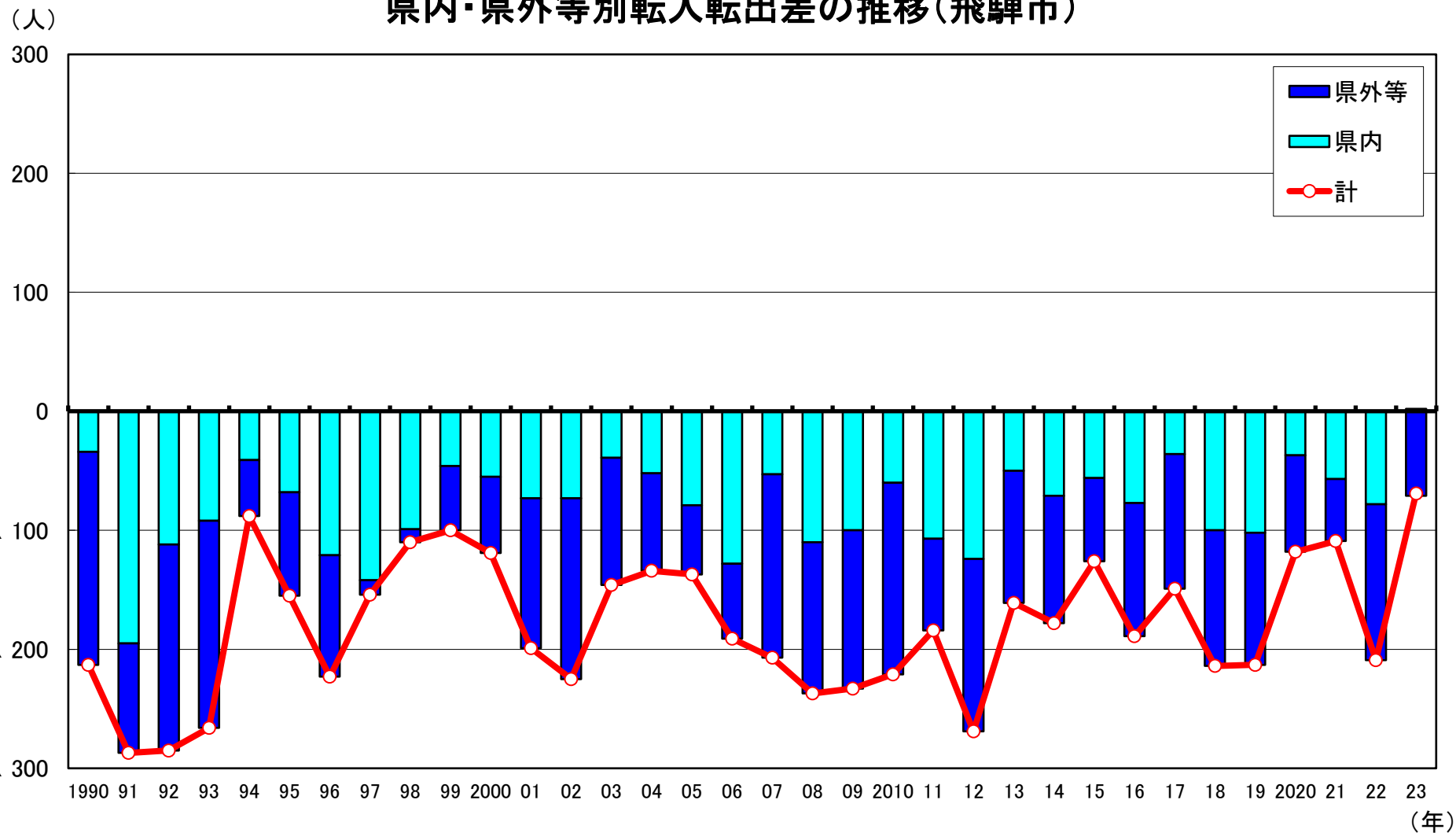
出典：厚生労働省「人口動態統計」（日本人 1～12月の年計）

（年）

# 過去30年以上、転出超過が続く

2023年の社会動態：転入623人 転出692人 69人の転出超過

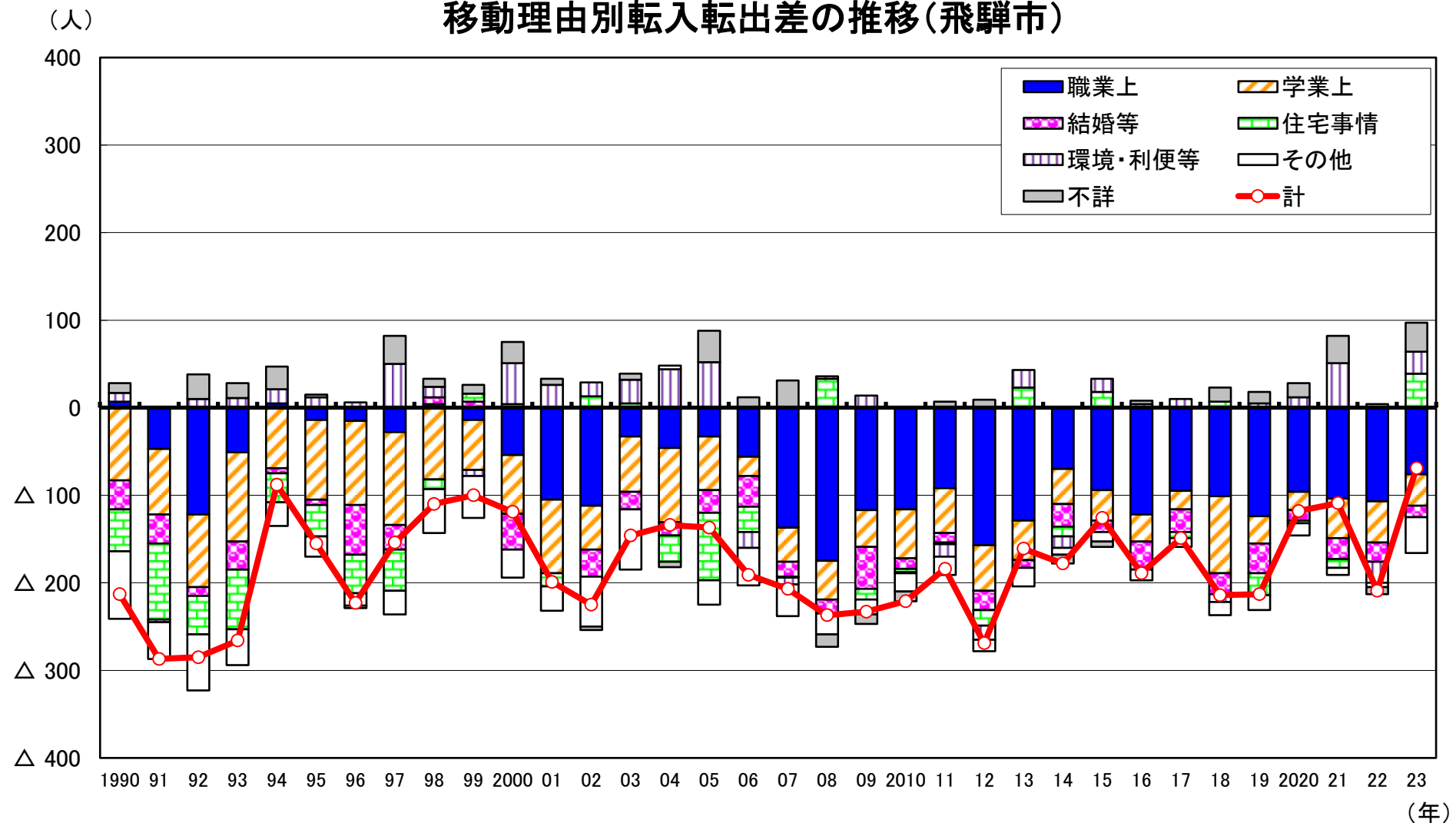
## 県内・県外等別転入転出差の推移(飛騨市)



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

# 職業上、学業上を主な理由とした転出超過が続く

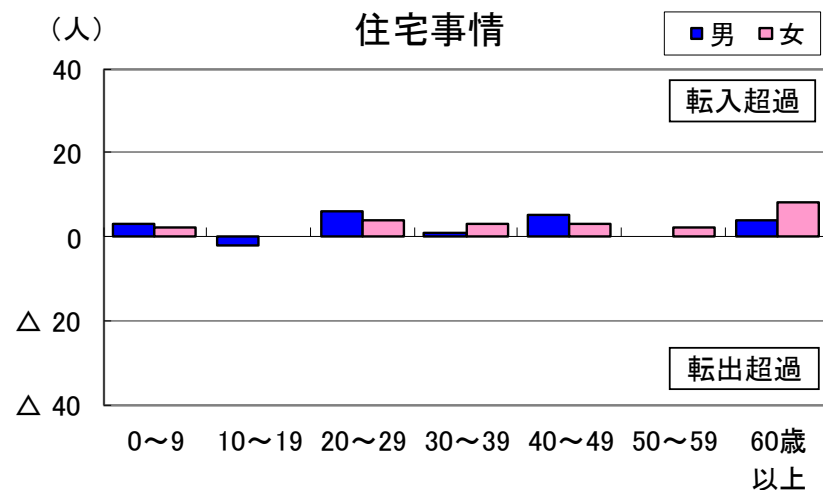
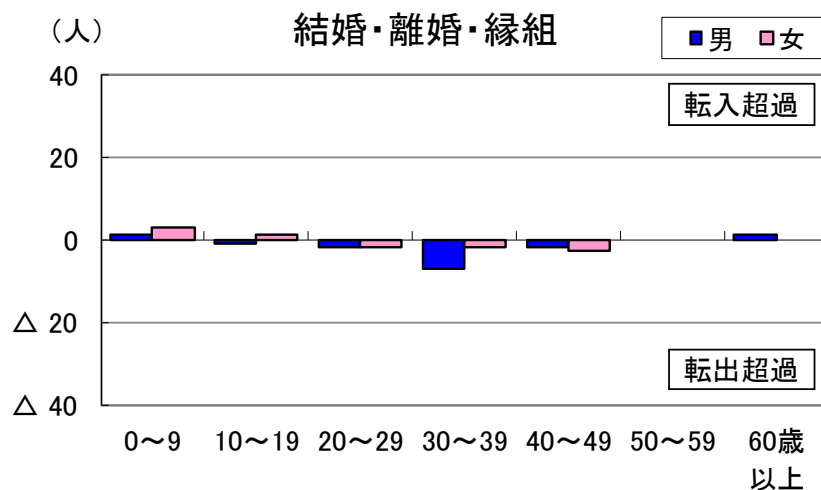
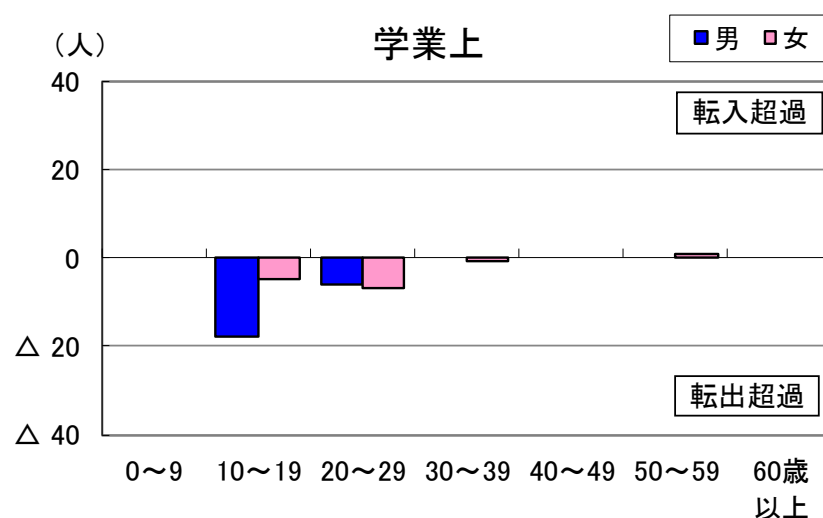
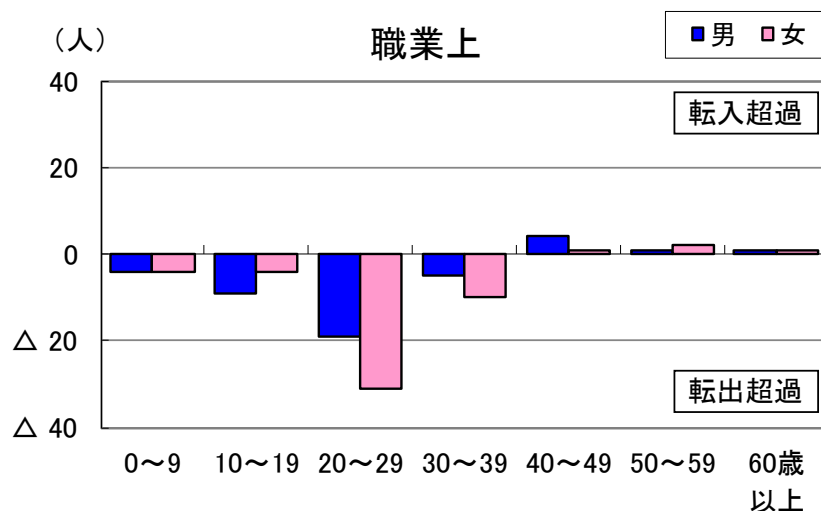
移動理由別転入転出差の推移(飛騨市)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」(不詳＝外国人＋職権、環境・利便等＝生活環境の利便＋自然環境＋交通の利便)

# 職業上、学業上を理由とした10～20代の転出超過が多い 住宅事情を理由とした転入超過も多い

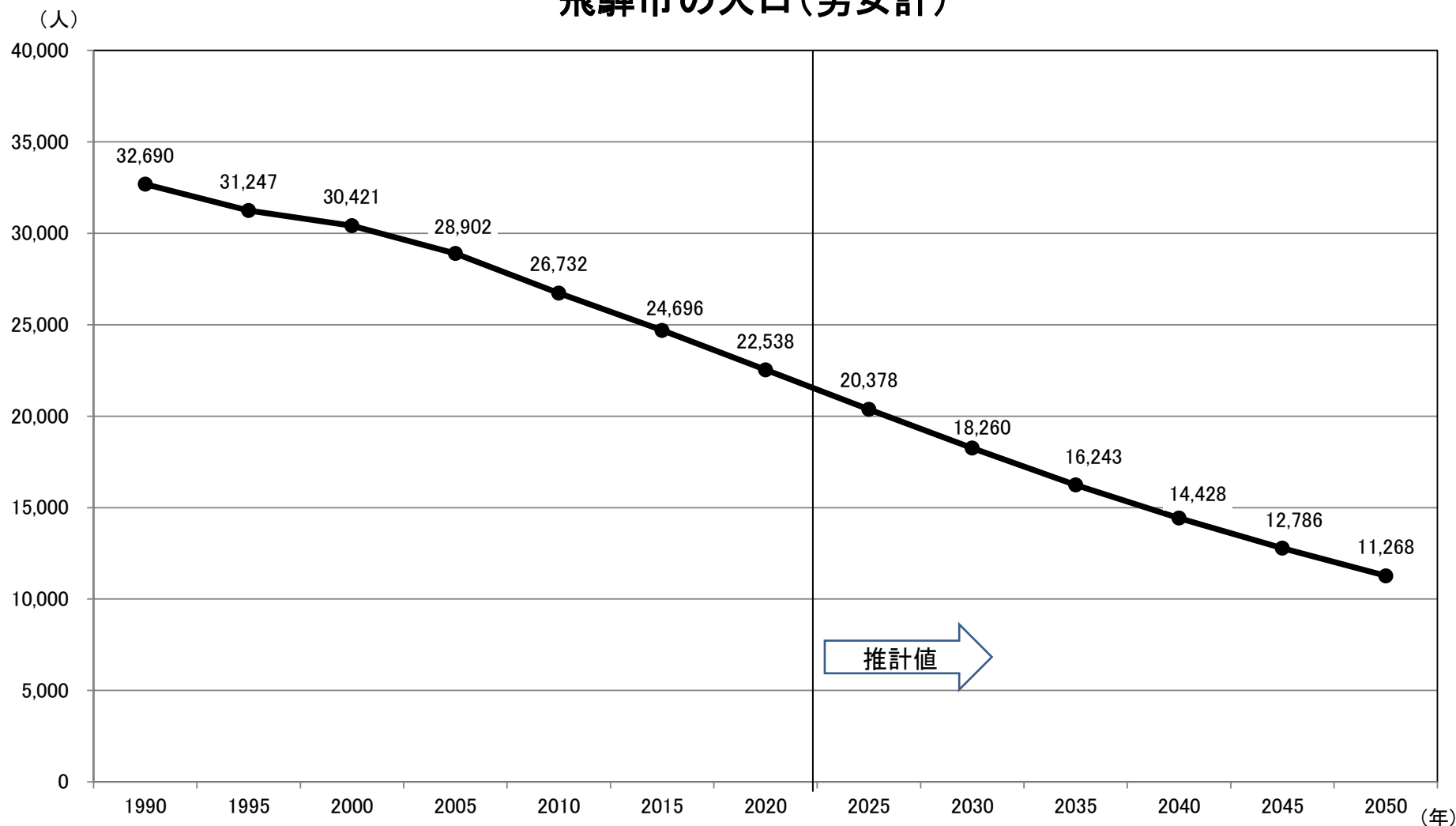
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(飛騨市 2023年)



# 参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

## 飛騨市の人口(男女計)

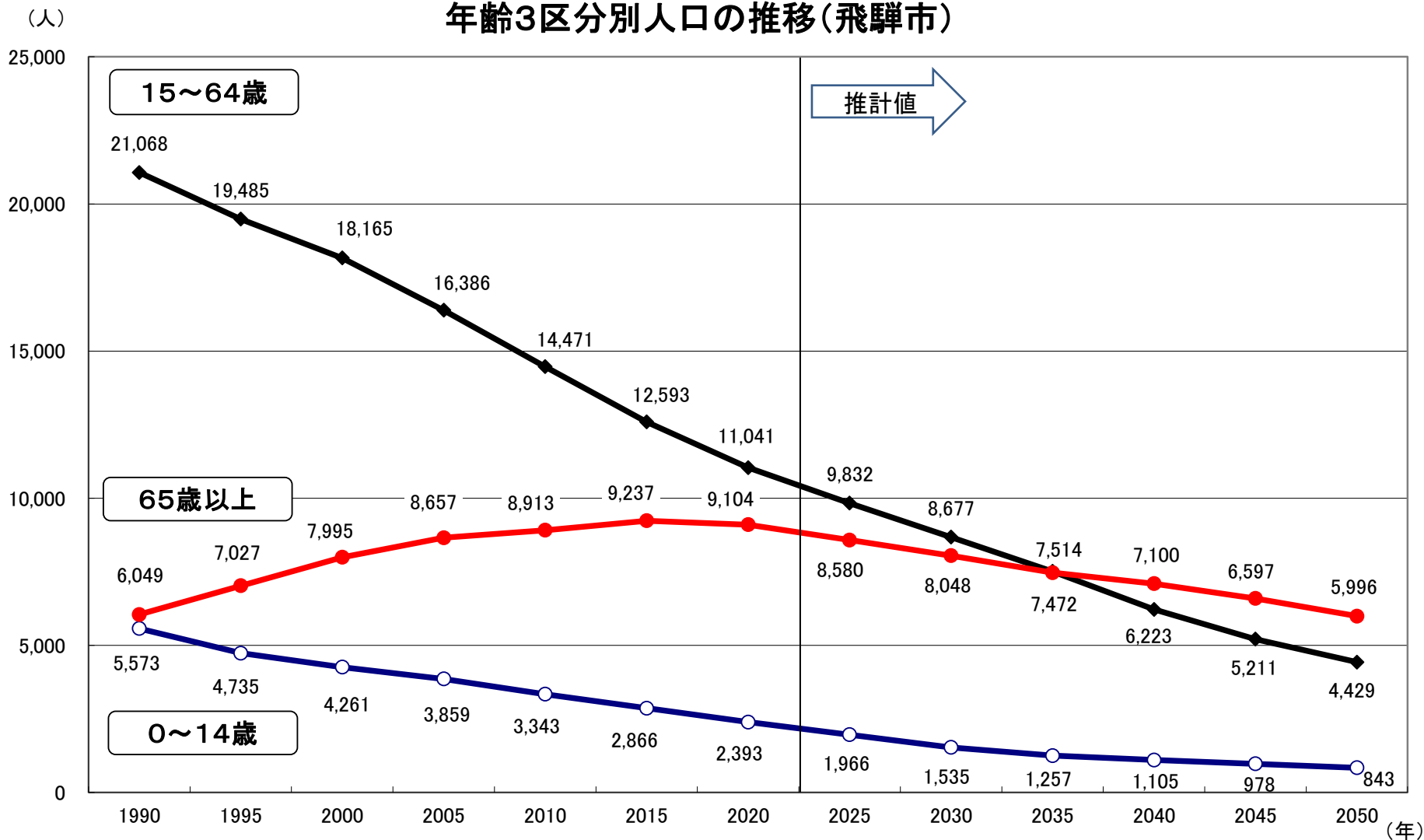


出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

# 参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

年齢3区分別人口の推移(飛驒市)



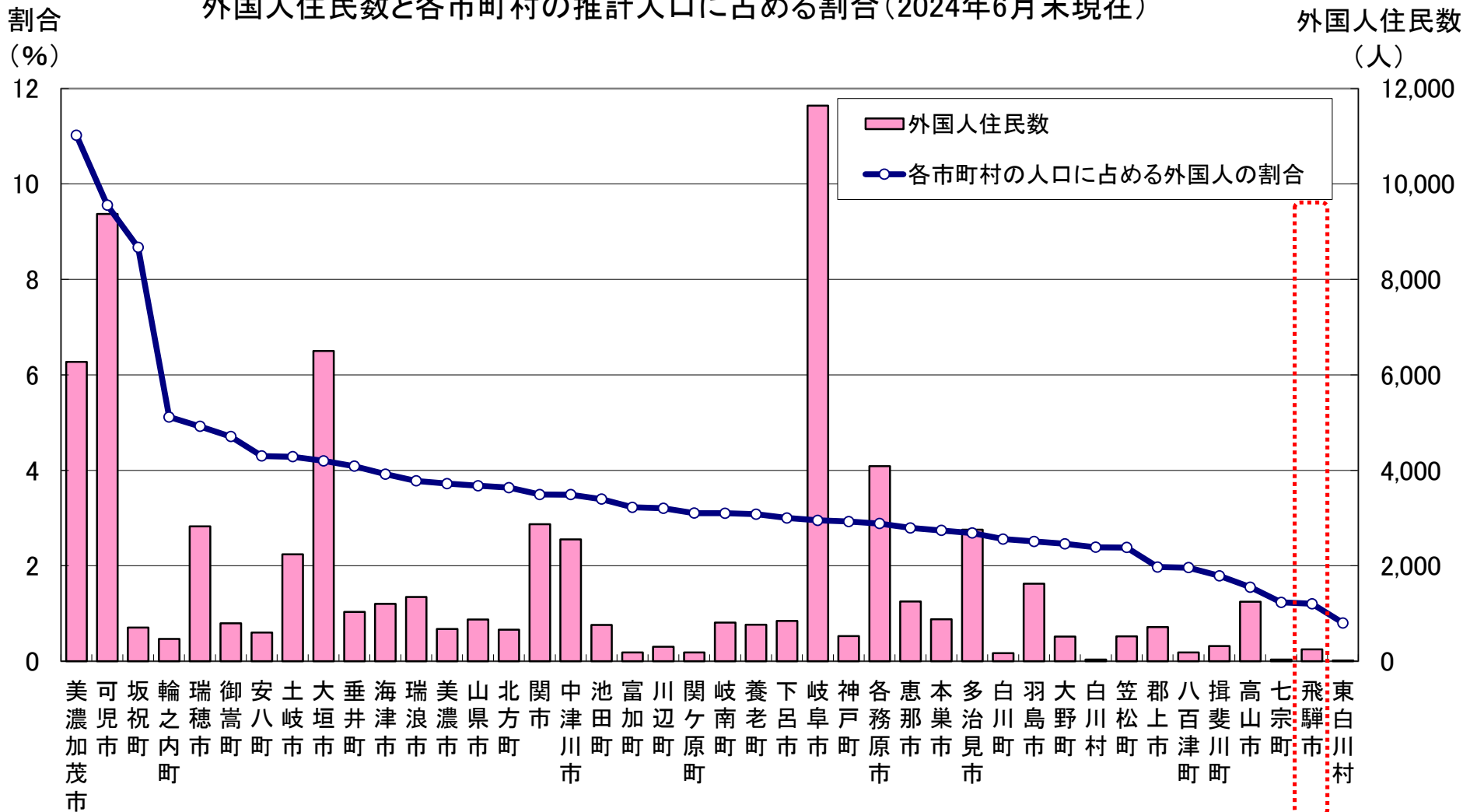
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

# 人口に占める外国人の割合は1.2%（県内41位）

岐阜県の外国人住民数71,617人のうち、飛騨市の外国人住民数（251人）は0.4%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2024年6月末現在）

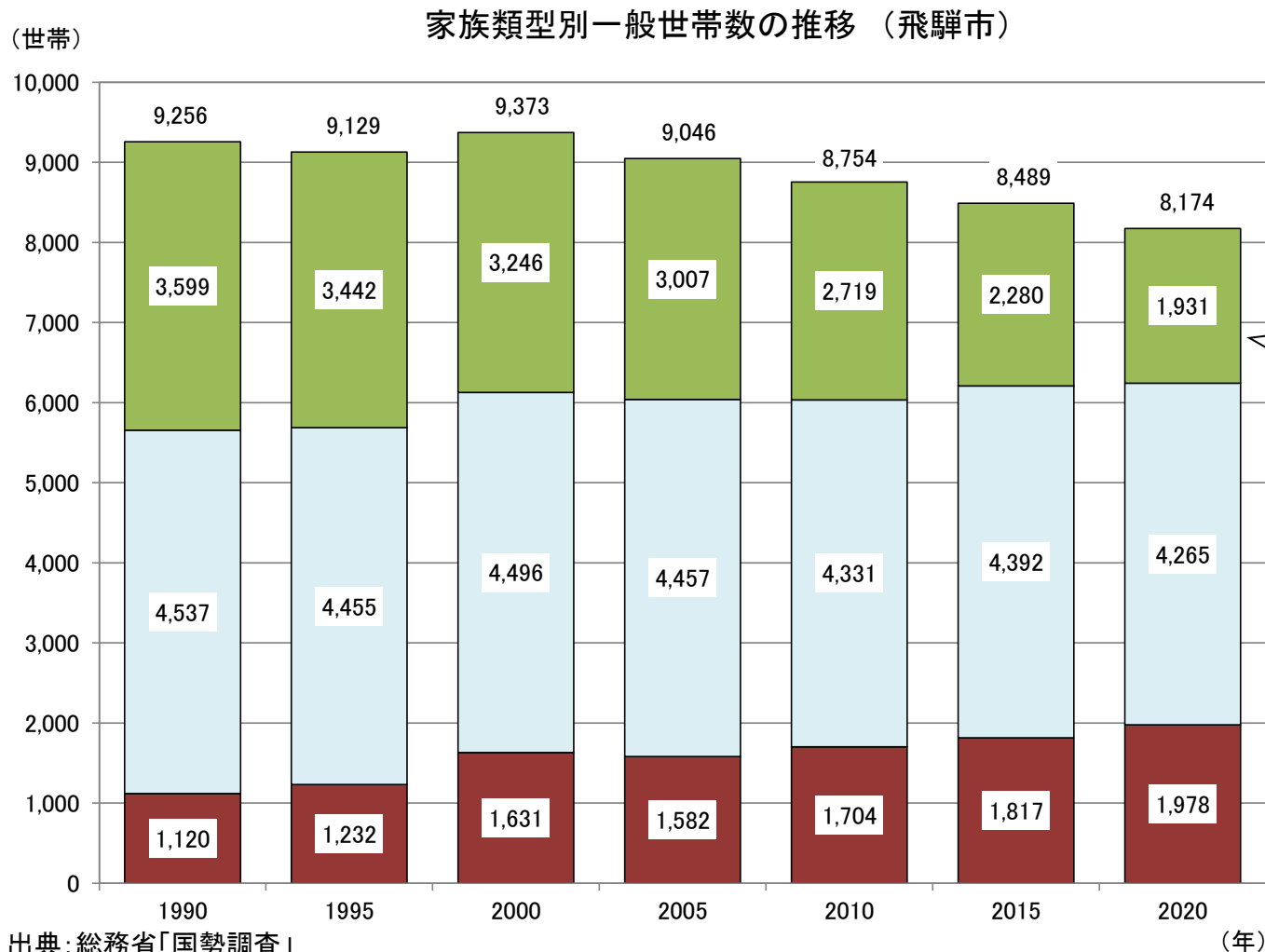


出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2024年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2024年7月1日現在）により算出。

# 一般世帯数が減少し、1世帯当たり人員数も減少 単独世帯は増加傾向

単独世帯は1990年以降の30年間で1.8倍に。

1世帯当たり人員数：2.99人（2010年）→2.67人（2020年 県内11位）

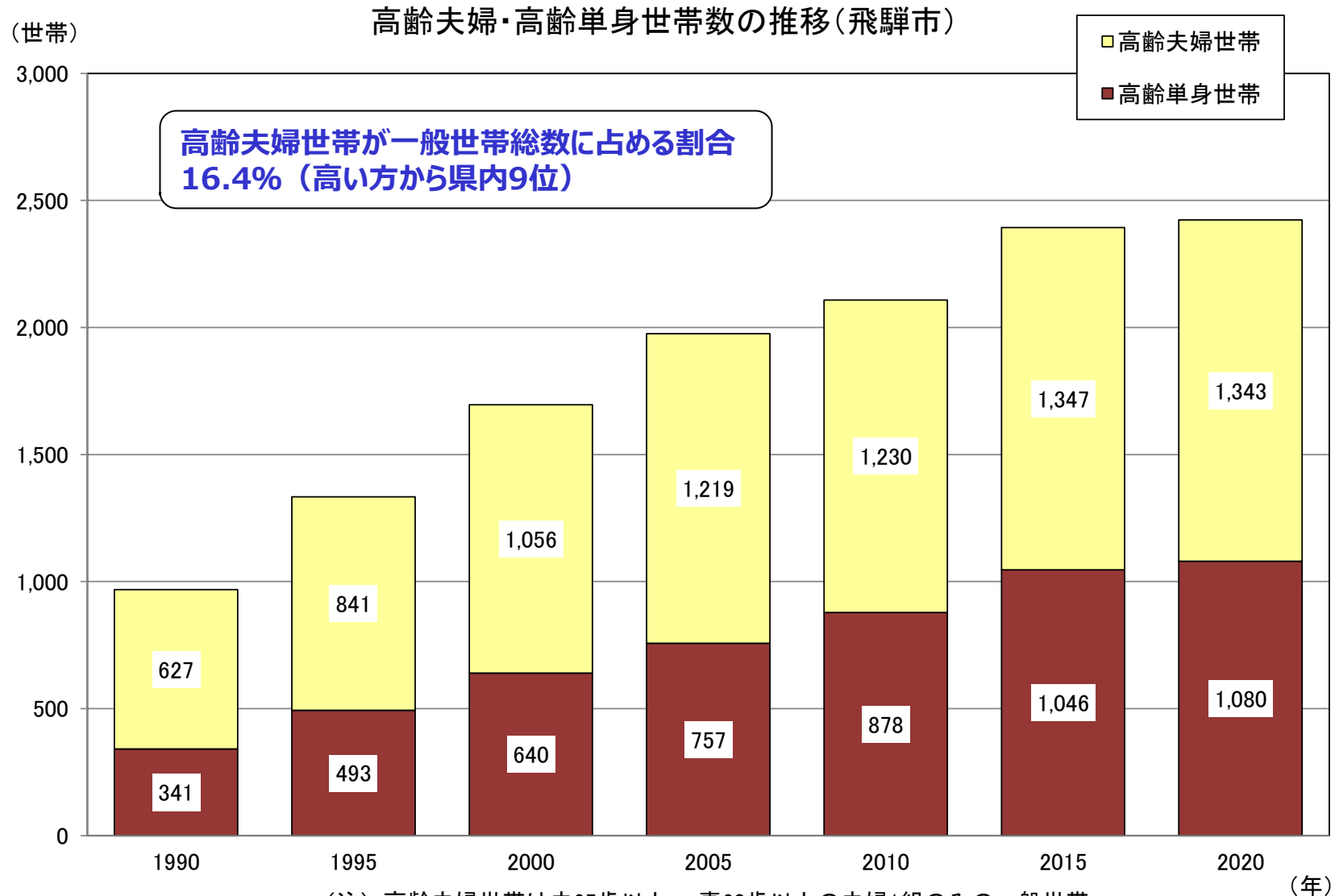


出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

# 高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は2.1倍、高齢単身世帯は3.2倍に増加。



(注)・高齢夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

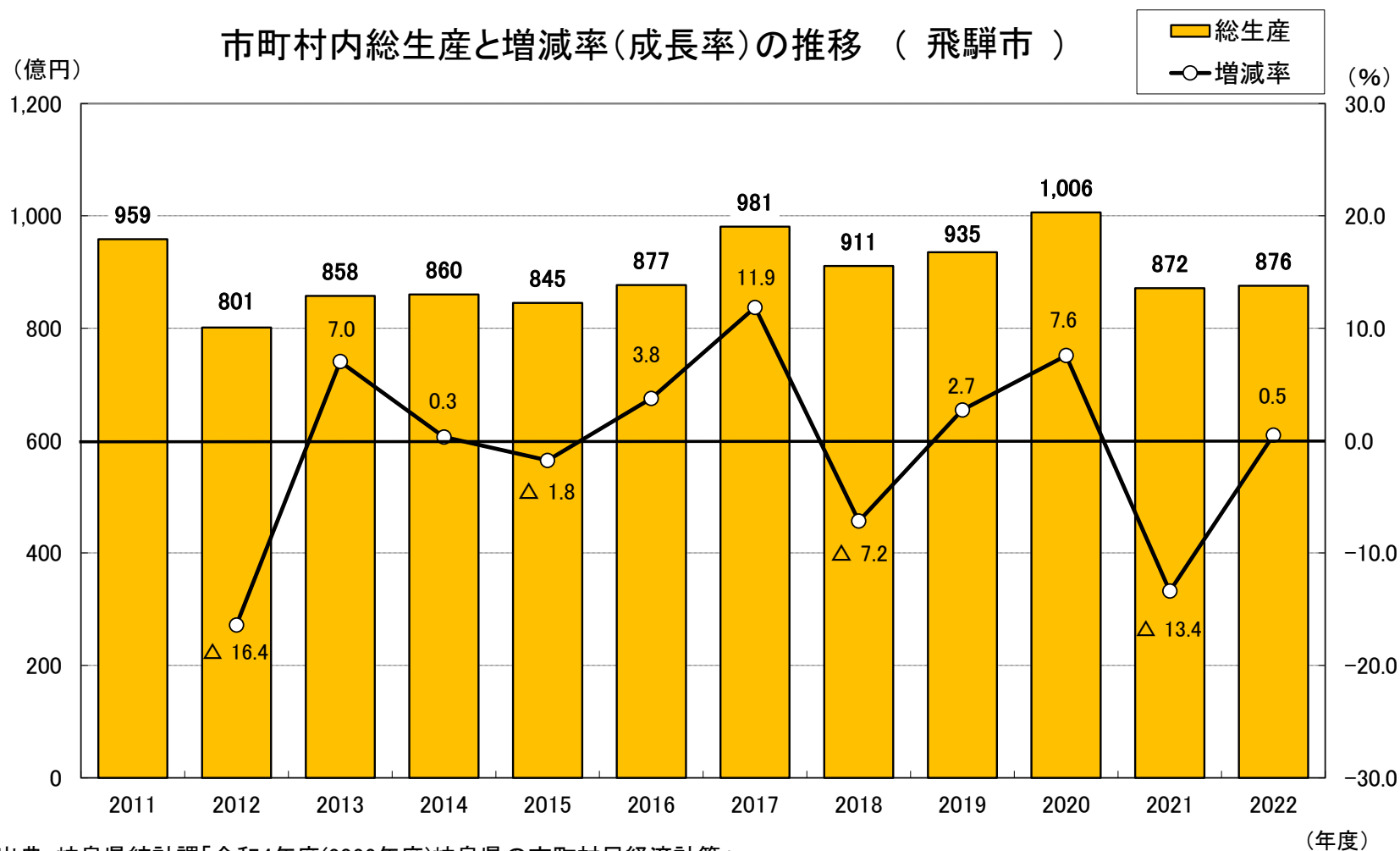
・高齢単身世帯は65歳以上の人一人のみの一般世帯

# 飛騨市の総生産は876億円 1人当たり市町村民所得は303万9千円

総生産は県（名目8兆2252億円）の1.1%、県内24位

1人当たり市町村民所得は県（319万2千円）の95.2%、県内28位

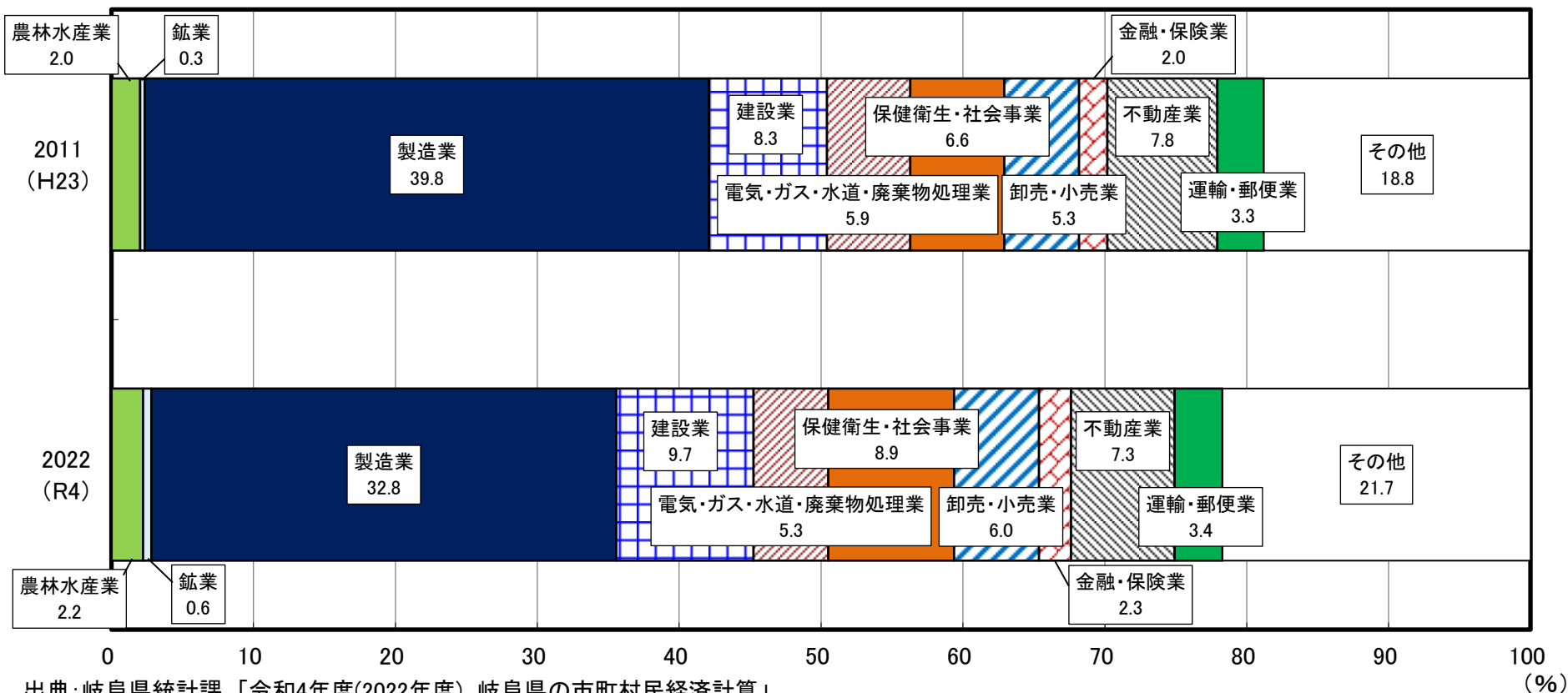
※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの



# 第2次産業が43%、第3次産業が54%を占める産業構造

製造業、建設業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (飛騨市)



出典: 岐阜県統計課「令和4年度(2022年度)岐阜県の市町村民経済計算」

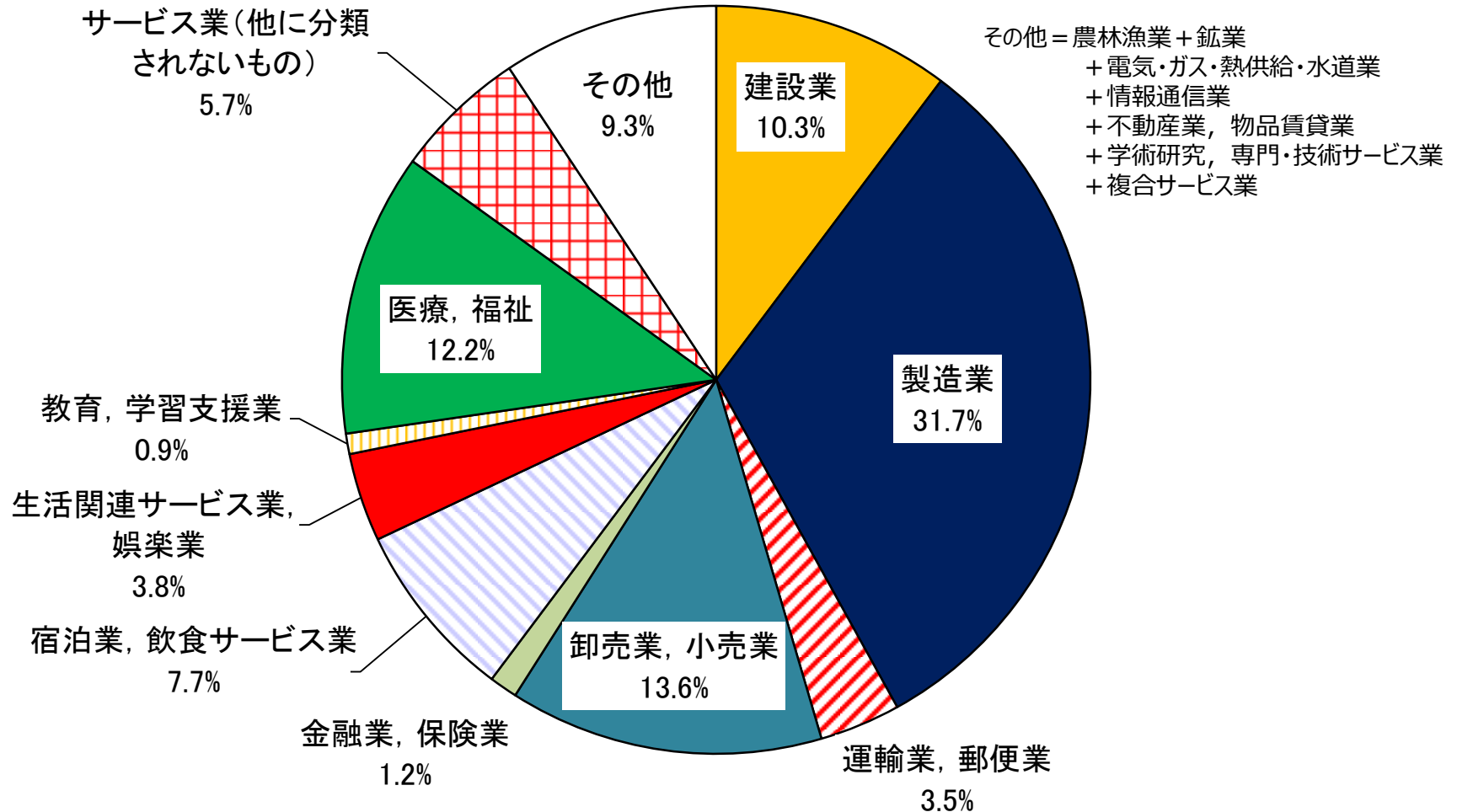
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

# 産業別の従業者数は、製造業が31.7%と最も多く、 次いで卸売業、小売業が13.6%を占める

産業別従業員数の構成比（飛騨市 2021年）



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」  
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

# 産業別従業者でみると、全国と比べて、 鉱業、農林漁業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（飛騨市 2021年）

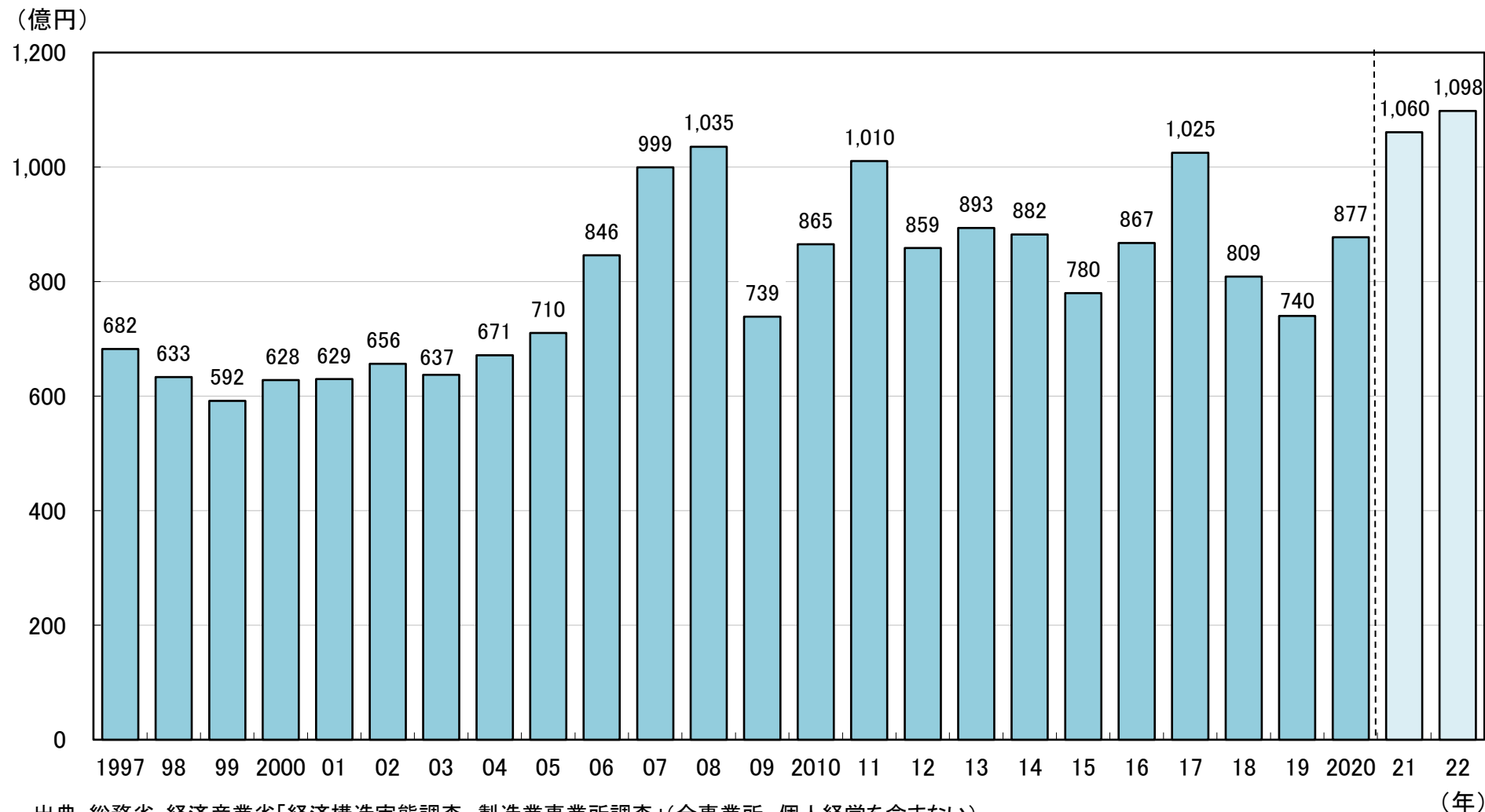
|                   | 事業所数  | 従業者数  |       | 産業別従業者数の<br>構成比による特化係数 |        |
|-------------------|-------|-------|-------|------------------------|--------|
|                   |       | (人)   | 構成比   | 全国=1.00                | 県=1.00 |
| 総数                | 1,371 | 9,952 | 100.0 | 1.00                   | 1.00   |
| 農林漁業              | 37    | 299   | 3.0   | 3.84                   | 2.78   |
| 鉱業                | 3     | 32    | 0.3   | 9.46                   | 4.81   |
| 建設業               | 166   | 1,021 | 10.3  | 1.59                   | 1.51   |
| 製造業               | 136   | 3,155 | 31.7  | 2.09                   | 1.28   |
| 電気・ガス・熱供給・水道業     | 7     | 46    | 0.5   | 1.33                   | 1.50   |
| 情報通信業             | 4     | 32    | 0.3   | 0.09                   | 0.43   |
| 運輸業, 郵便業          | 24    | 348   | 3.5   | 0.62                   | 0.77   |
| 卸売業, 小売業          | 302   | 1,350 | 13.6  | 0.68                   | 0.71   |
| 金融業, 保険業          | 18    | 121   | 1.2   | 0.47                   | 0.53   |
| 不動産業, 物品賃貸業       | 26    | 111   | 1.1   | 0.40                   | 0.63   |
| 学術研究, 専門・技術サービス業  | 52    | 293   | 2.9   | 0.81                   | 1.30   |
| 宿泊業, 飲食サービス業      | 209   | 771   | 7.7   | 0.96                   | 0.95   |
| 生活関連サービス業, 娯楽業    | 126   | 381   | 3.8   | 1.02                   | 0.95   |
| 教育, 学習支援業         | 51    | 88    | 0.9   | 0.26                   | 0.33   |
| 医療, 福祉            | 103   | 1,218 | 12.2  | 0.87                   | 0.92   |
| 複合サービス事業          | 18    | 115   | 1.2   | 1.54                   | 1.27   |
| サービス業(他に分類されないもの) | 89    | 571   | 5.7   | 0.64                   | 0.80   |

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

# 2022年の製造品出荷額等は、1098億円

## 製造業製造品出荷額等の推移（飛騨市）



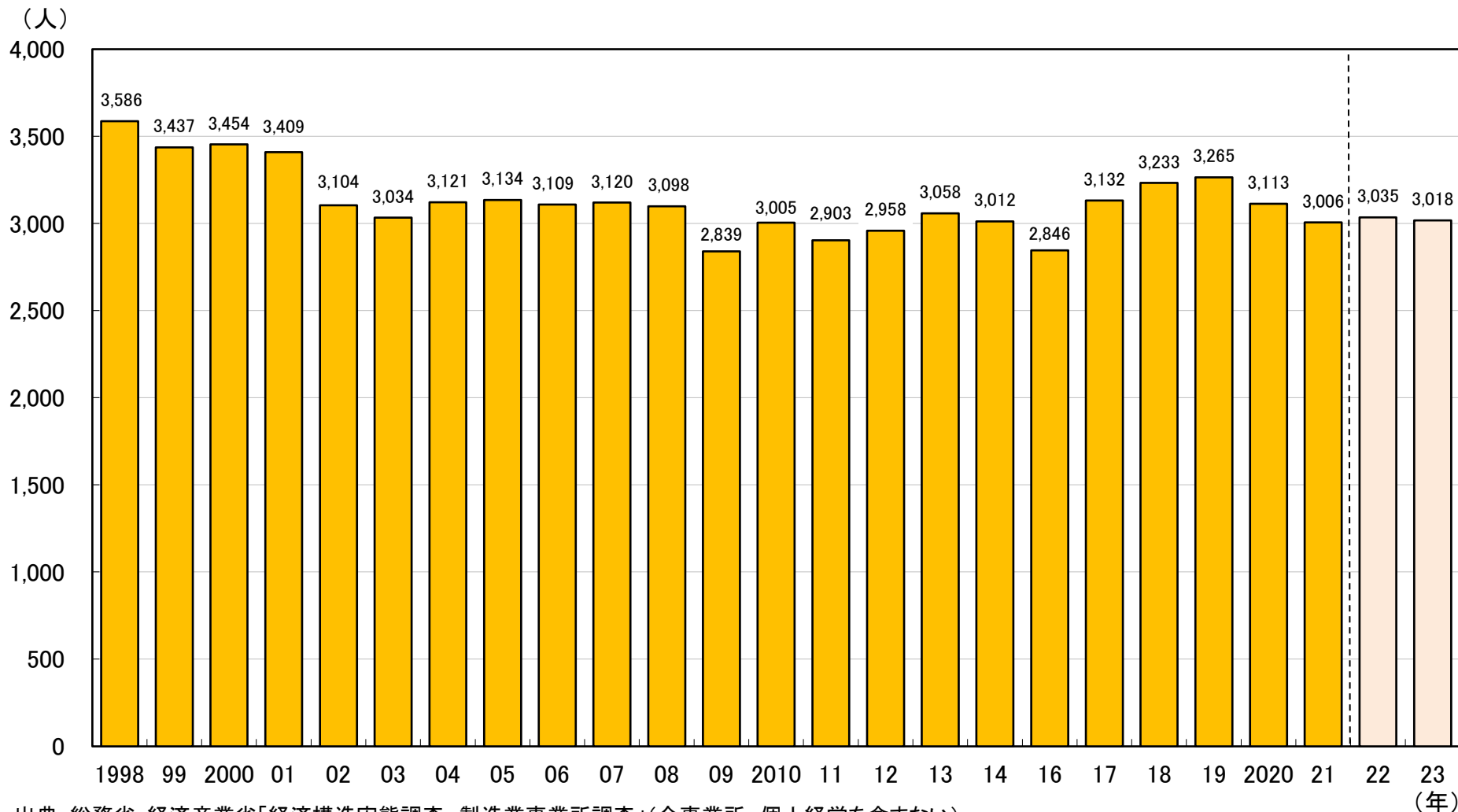
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

# 製造業の従業者数は、横ばい傾向

製造業従業者数の推移（飛騨市）



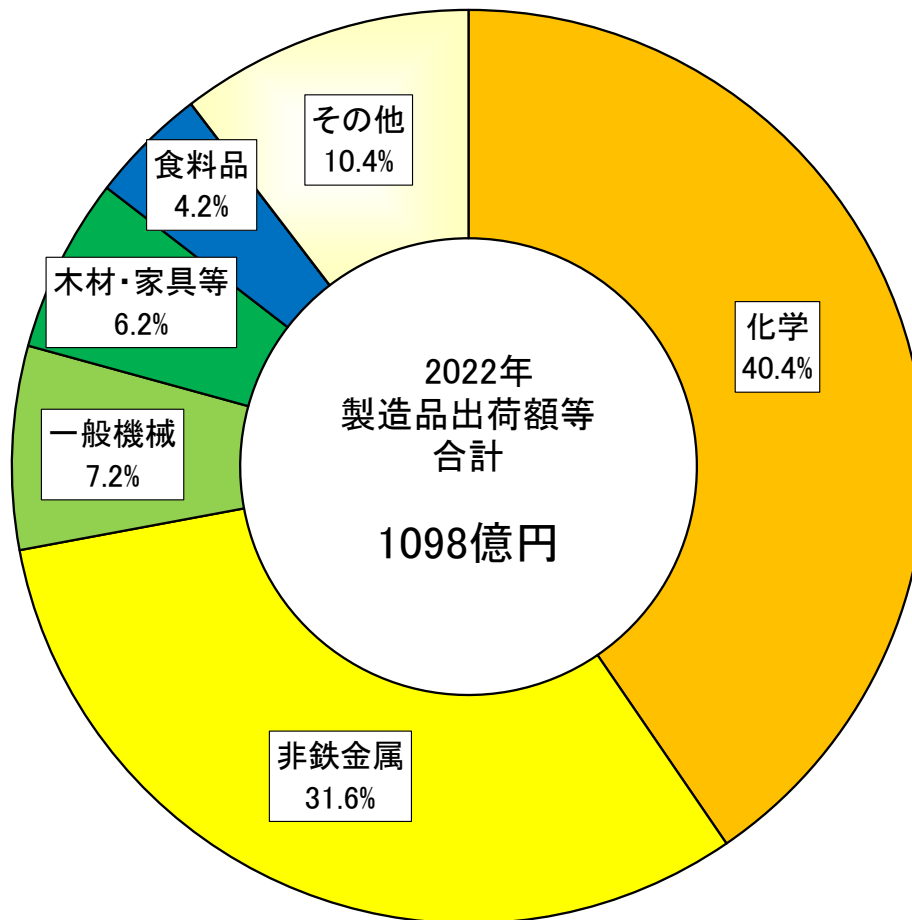
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

# 化学工業が40.4%と最も多く、 次いで非鉄金属が31.6%を占める

製造品出荷額等の業種構成＜ 飛騨市 ＞



出典：総務省・経済産業省「令和5年(2023年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

注1：「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2：「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4：単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。